



NEC Expressワークステーション
Express5800シリーズ

Express5800/56We

ユーザーズガイド

2001年 4月 初版

ONL-066aN-56We-000-00-0104

商標について

ESMPROとExpressPicnic、CLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDERは日本電気株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intelは米国Intel Corporationの登録商標です。

Xeonは米国Intel Corporationの商標です。

ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。

SCSI Selectは米国Adaptec, Inc.の商標です。

Mylexは米国Mylex Corporationの登録商標です。

DLTとDLTapeは米国Quantum Corporationの商標です。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

Symantec Norton Ghost

(c) 1999 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波適合品

本装置は経済産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザ安全基準について

本装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブは、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

Norton Ghost 6.X Standard Edition OEMバージョンについて

1. Norton Ghost6.Xについて

Norton Ghostはハードディスクの内容を高速にかつ簡単に『複製』と『書き戻し』ができるソフトウェアです。本媒体には、『書き戻し』機能に特化した「Norton Ghost6.X Standard Edition OEMバージョン」が添付されています。

『複製』と『書き戻し』ができるNorton Ghost6.Xの製品版の詳細につきましては 下記サイトでご覧になれます。

<http://www.symantec.com/region/jp/products/ghost/ghost.html>

2. メーリングリスト登録について

法人使用のユーザ様へ

本製品「Norton Ghost6.X Standard Edition OEMバージョン」が同梱されているPCを25台以上ご利用いただいているユーザ様向けにNorton Ghostの企業向けライセンス製品へのアップグレードサービスをご提供いたします。アップグレード版ライセンス製品では『複製』、『書き戻し』が可能となっております。

くわしくは <http://www.symantec.co.jp/nec> へアクセスください。

個人使用のユーザ様へ

ハードディスクのクローニング(完全複製)と安心バックアップが簡単にできる、「Norton Ghost 2001」を優待価格にてご提供致します。詳しくは下記URLをご覧ください。

優待販売のご案内

<http://www.symantec.com/region/jp/oem/nec/>

尚、Norton Ghost2001の製品詳細につきましては以下URLをご覧ください。

<http://www.symantec.com/region/jp/products/ghost2001/>

シマンテック株式会社
日本電気株式会社

シマンテック社ソフトウェアご使用の条件

ご注意

シマンテックは、お客様が本使用許諾契約の内容にすべて同意される場合にかぎり、お客様がこのソフトウェアを使用することを許諾します。このソフトウェアを使用またはインストールすると本使用許諾契約に同意したものと見なされますので、その前に本使用許諾契約をよくお読みください。お客様が本使用許諾契約の内容に同意されない場合、シマンテックは使用を許諾いたしませんので、このソフトウェアを使用およびインストールしないでください。

使用許諾契約および保証

本使用許諾契約の対象となるソフトウェア(以下、単に「本ソフトウェア」といいます)は、シマンテックおよび本ソフトウェアの使用許諾権者の所有物であり、著作権法によって保護されています。シマンテックは本ソフトウェアの所有権を引き続き保持しますが、本使用許諾契約に同意したお客様に、本ソフトウェアの一定の使用権を設定します。本使用許諾契約が許諾補遺条項によって修正される場合を除き、設定される本ソフトウェアの使用権は以下の通りです。

許諾事項

Ghostを使用して一つのハードディスクのイメージを一つだけ他のハードディスクに作成すること。
特定のハードディスクに対するGhostの使用許諾を再度利用して、そのハードディスクのイメージを同じハードディスク内に追加して作成すること。ただし、そのハードディスクのエンド・ユーザーとしての立場で行うことを要し、そのハードディスクを包含するシステムの販売者として行ってはならない。
障害復旧の目的でGhostで作成した一つのイメージ・ファイルをお客様が第三者に移転するハードディスクに保存すること。

禁止事項

Ghostの使用許諾を利用してハードディスクにイメージ・ファイルを作成したあとに、更にその使用許諾を再利用すること。
本ソフトウェアに附属しているマニュアルなどの文書をコピーすること。
本ソフトウェアの一部または全部を問わず、再使用許諾、貸与、または、リースをすること。
リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、または、本ソフトウェアのソースコードを調べる行為をし、もしくは、本ソフトウェアから派生品を制作すること。

保証の限定

シマンテックは、本ソフトウェアの引き渡しから60日間にわたって、本ソフトウェアの供給媒体に瑕疵がないことを保証します。この保証内容に違反する事態が生じた場合、お客様の唯一の救済方法として、シマンテックは保証期間内に返送を受けた瑕疵のある媒体の代品を提供致します。シマンテックは、本ソフトウェアがお客様の要望にかなうものであること、本ソフトウェアの操作に障害が発生しないこと、および、本ソフトウェアの内容に誤りがないことを保証するものではありません。

上記の保証がシマンテックの行う保証のすべてであり、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、および、法律違反・権利侵害が存在しないことを含む明示的、黙示的な一切の保証に代わるものです。上記の保証は、お客様に特定の法的権利を付与しますが、国によっては、法律でお客様にその他の権利が与えられることがあります。

損害賠償の免責

本書記載の救済方法によりその目的が達成できるかどうかにかかわらず、シマンテックは、特別損害、偶発的損害、間接損害、または、これに類似する損害に対する一切の責任を負いません。そのような損害には、本ソフトウェアの使用またはその使用不能により生じたお客様の得べかりし利益の喪失やデータ消失も含まれます。そのような損害が生じる可能性についてシマンテックが以前から警告を受けていたとしても、損害に対する責任をシマンテックが負うことはありません。

国によっては、上記のような偶発的、間接的な損害に対する損害の限定または免除を認めていないことがあります。お客様がそのような国にお住まいの場合は、上記の責任限定・免責規定は適用されないことがあります。
いかなる場合にせよ、シマンテックの賠償責任が、本ソフトウェアのご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定・免責規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かにかかわらず適用されます。

その他

本使用許諾契約は、英国の法律に従って解釈されます。本使用許諾契約は、本使用許諾に付随する許諾補遺条項、または、お客様とシマンテックの双方が署名した書面によってのみ、その内容を変更することができます。本使用許諾契約に関するご質問がある場合、または、その他の理由によりシマンテックと連絡をとりたいお客様は、下記のところまでお手紙でお知らせ下さい。

Sales and Service, Symantec Europe, Kanaalpark 145, Postbus 1143,2321 JV Leiden, The Netherlands.

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

Expressワークステーションを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない	 注意
	電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

Expressワークステーションを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはvページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じて当社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROM/RWドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

 注意	
 	海外で使用しない 本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
 	装置内に水や異物を入れない 装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないでお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項



警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



注意



指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



一人で持ち上げない

本装置の質量は約21kgです。一人で持ち上げたりして運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置を運ぶときは二人以上で底面をしっかりと持ってください。



フロントマスクに手をかけて運ばない

本装置を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

また、スタビライザを閉じたままにしないでください。装置が転倒し、正常に動作しなくなるばかりでなく、けがや周囲の破損の原因となることがあります。



電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付け・取り外しは本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま装置内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



CD-ROM/RWドライブの内部をのぞかない

CD-ROM/RWドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差したまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け／取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けたボードは接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



装置の上にものを載せない

スタビライザで固定していてもExpressワークステーションが倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



CD-ROM/RWドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。



巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

Expressワークステーション内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはExpressワークステーションを取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

このラベルは装置内部に貼られています。

⚠ 注意 CAUTION



- 高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。
- 電源を切ってもバッテリーで稼働している部分があります。保守をする前に各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読みください。
- As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use
- precaution when handling internal components immediately after powering down. Some internal components may still be
- operational on battery power. Refer to instruction manuals for this system as well as options prior to maintenance.



重量物注意 WARNING: HEAVY ITEM



ぎっくり腰や落下事故防止のため移動のさいは2人以上で行って下さい。

To avoid the risk of personal injury or damage to the unit, move the unit with at least two or more people.

⚠ 注意

ファンに手を近づけないでください。

⚠ 注意 CAUTION

オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。
Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.



電源プラグを抜く



感電注意

ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。
Do not drop any screws inside the system.



ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザズガイドを参照し、正しく接続して下さい。
誤った接続は、故障や火災の原因となります。



Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.

指をはさんだり、ぶついたりしないように注意して下さい。



To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.

装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりとって持ち上げて下さい。



Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.

取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

Expressワークステーションを正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをするとExpressワークステーションの誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは58ページを参照してください。
- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 周辺機器へのケーブルの接続／取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。
- AC入力電圧が100Vのコンセントに添付の電源コードを接続してください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本装置を清掃してください(清掃は183ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等(UPS)を使用することをお勧めします。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け／接続できても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因によって起きた故障や破損についての修理は保証期間中でも有料となります。



保守サービスについて

Expressワークステーションの保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

Expressワークステーションをいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

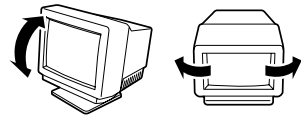
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体どの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



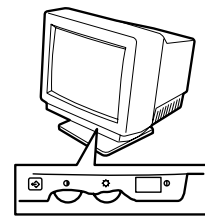
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



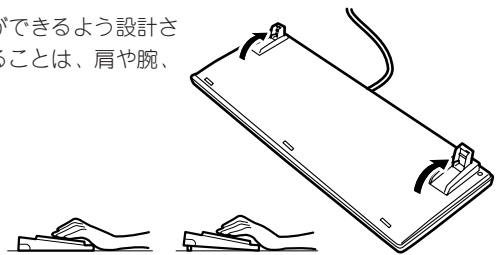
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

本装置に添付されているキーボードは、角度を変えることができるよう設計されています。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpressワークステーションをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

NEC Expressワークステーションは、強力なパワーと最新のアーキテクチャを採用した次世代を担うコンピュータです。そのポテンシャルはクライアントサーバシステムを構築するワークステーションPCとしても十分な能力を持ち、高速な処理と高い信頼性を提供します。

Expressワークステーションの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、Expressワークステーションを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。Expressワークステーションのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは取り扱いの上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常にExpressワークステーションのそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、WindowsやWindows NTなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本書の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。本書を再購入できます。

- 品名 Express5800/56We ユーザーズガイド
- 型名 UL9020-370

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1編 導入編 Expressワークステーションを導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しくExpressワークステーションをお使いになるシステム環境へ導入してください。

第2編 ハードウェア編 本装置のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本装置にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。

第3編 ソフトウェア編 本装置に添付のソフトウェアについてその機能やインストール方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。

第4編 運用・保守編 本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときは、本装置の故障を疑う前にまずここを参照してください。

付属品の確認

本装置の梱包箱の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」の構成品については、パッケージの中にある構成品表を参照してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードなどは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROM/CD-RWは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

ExpressワークステーションまたはExpressワークステーションに添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

● Expressワークステーション本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。

● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- ー 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- ー 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ー 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本装置およびハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM/RWやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



本装置のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

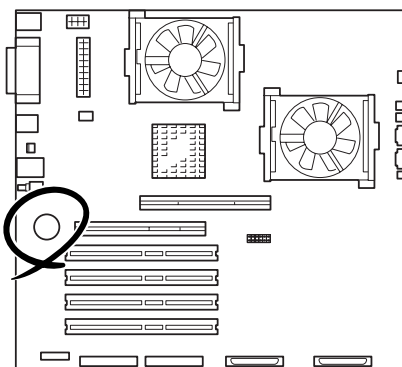
- 本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(装置ファン、装置内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROM/RWドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

⚠ 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	v
安全にかかわる表示について	v
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	vi
安全上のご注意	vii
全般的な注意事項	vii
電源・電源コードに関する注意事項	viii
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	ix
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	x
運用中の注意事項	xi
警告ラベルについて	xii
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	xiii
はじめに	xv
本書について	xv
本書の記号について	xv
本書の再購入について	xvi
本書の構成について	xvi
付属品の確認	xvii
第三者への譲渡について	xvii
消耗品・装置の廃棄について	xviii

1 導入編

Expressワークステーションの特長	2
導入のポイント	4
システム構築のポイント	4
電源を入れる前に	4
① ハードウェアのセットアップ	4
② オペレーティングシステムのセットアップ	5
③ 内蔵デバイスの取り付け/周辺機器の接続	5
④ 障害処理のためのセットアップ	6
⑤ 管理ユーティリティのインストール	6
⑥ システム情報のバックアップ	6
購入時のハードディスクの状態と保守用パーティション	7
メモリの縮退機能	7
CPUの縮退機能	8
ネットワーク構築のポイント	8
UPS接続時のポイント	8
ストレージ機能構築のポイント	9
お客様登録	10
セットアップ	11
1 ハードウェアのセットアップ	11

2 オペレーティングシステムのセットアップ	12
セットアップをはじめる前に	12
セットアップの開始	15
Windows 2000 Professionalのセットアップ	18
オペレーティングシステムのセットアップ	18
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ	21
SCSIドライバ(N8103-55)のセットアップ	23
システムのアップデート ～Service Packの適用～	24
Windows NT 4.0 Workstationのセットアップ	25
オペレーティングシステムのセットアップ	25
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ	27
SCSIドライバ(N8103-55)のセットアップ	29
システムのアップデート	30
3 内蔵デバイスの取り付け/周辺機器の接続	31
4 障害処理のためのセットアップ	32
メモリダンプ(デバッグ情報)の設定 ～Windows 2000/Windows NT共通～	32
Windows 2000 Professionalの場合	32
Windows NT 4.0 Workstationの場合	34
ワトソン博士の設定 ～Windows 2000/Windows NT共通～	36
システム修復情報の更新 ～Windows NTのみ～	37
セットアップブートディスクの作成	38
5 管理ユーティリティのインストール	39
6 システム情報のバックアップ	39
再セットアップ	40
再セットアップの準備	40
再セットアップの開始	41
Windows 2000 Professionalの再セットアップ	44
システムを再インストールするパーティションについて	44
オペレーティングシステムのセットアップ	46
Windows NT 4.0 Workstationの再セットアップ	48
システムを再インストールするパーティションについて	48
オペレーティングシステムのセットアップ	50

2 ハードウェア 編

各部の名称と機能	54
装置前面	54
装置背面	55
装置内部	56
マザーボード	56
ランプ表示	57
POWERランプ	57
DISKアクセスランプ	57
SLEEPランプ	57
設置と接続	58
設 置	58
接 続	60
基本的な操作	62
電源のON	62
POSTのチェック	63
POSTの流れ	63
POSTのエラーメッセージ	65
電源のOFF	65

省電力モードの起動	66
フロッピーディスクドライブ	67
フロッピーディスクのセット/取り出し	67
フロッピーディスクの取り扱い	68
CD-ROMドライブ/CD-RWドライブ	69
CD-ROMのセット/取り出し	69
CD-ROMの取り扱い	71
内蔵オプションの取り付け	72
安全上のご注意	72
静電気について	73
取り付け/取り外しの準備	74
取り付け/取り外しの手順	74
レフトサイドカバー	74
フロントマスク	76
3.5インチハードディスク	77
PCIボード/AGPボード(グラフィックスアクセラレータ)	80
プロセッサ(CPU)	83
RIMM	87
5.25インチデバイス	92
ケーブル接続	95
インタフェースケーブル	95
電源ケーブル	97
BIOSのセットアップ	98
システムBIOS ～SETUP～	98
起 動	99
キーと画面の説明	100
設定例	101
パラメータと説明	103
SCSI BIOS ～SCSI Select～	124
SCSI Selectユーティリティの用途	124
マザーボード内蔵のコントローラに対する設定	124
オプションボードのコントローラに対する設定	131
リセットとクリア	132
リセット	132
強制シャットダウン	132
CMOSのクリア	133
割り込みラインとI/Oポートアドレス	134

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	138
EXPRESSBUILDER	139
起動メニューについて	139
EXPRESSBUILDER トップメニュー	140
起 動	140
キーボードの選択	140
シームレスセットアップ	141
ツールメニュー	142
マスターコントロールメニュー	145

ExpressPicnic	146
ExpressPicnicのインストール	146
Windows 2000・Windows NT 4.0・Windows 95/98	146
Windows NT 3.51	147
セットアップパラメータFDの作成	148
追加アプリケーションのインストール	150
コンピュータからの情報採取	151
大量インストール	151
Express本体用バンドルソフトウェア	153
ESMPRO/ServerAgent (Windows 2000/Windows NT版)	153
インストール前の準備	153
インストール	154
インストール後の確認	154
テープ監視ツール	155
カスタムインストールモデルでのセットアップ	155
手動インストール(新規インストール)	155
エクスプレス通報サービス	157
インストール済みのエクスプレス通報サービスのセットアップ	157
手動インストール(新規インストール)	158
ESMPRO/UPSController Ver.2.1	160
インストール済みのESMPRO/UPSControllerのセットアップ	160
新規インストール	162
PowerChute <i>plus</i> Ver.5.11J/5.2J	164
インストール済みのPowerChute <i>plus</i> のセットアップ	164
新規インストール	165
管理PC用バンドルソフトウェア	166
ESMPRO/ServerManager	166
OFF state Alert II	166
OFF state Alert IIのインストール	166
OFF state Alert IIのセットアップ	168
OFF state Alert IIの運用	168
ディスクアレイソフトウェア	169
RAID EzAssistコンフィグレーションユーティリティ	169
本ユーティリティの使用制限	169
使用上の注意	169
Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ	171
本ユーティリティの使用制限	171
使用上の注意	171
Global Array Manager Server (Windows 2000/Windows NT版)	172
カスタムインストールモデルでのセットアップ	172
シームレスセットアップを使ったセットアップ	172
手動インストール(新規インストール)	173
Global Array Manager Client	175
カスタムインストールモデルでのセットアップ	175
シームレスセットアップを使ったセットアップ	175
手動インストール(新規インストール)	175
自動クリーンアップツール	178
カスタムインストールモデルでのセットアップ	178
シームレスセットアップを使ったセットアップ	178
手動インストール(新規インストール)	179
Array Recovery Tool	180

4 運用・保守 編

日常の保守	182
アラートの確認	182
バックアップ	182
クリーニング	183
本体のクリーニング	183
キーボード/マウスのクリーニング	184
CD-ROMのクリーニング	185
システム診断	186
システム診断の内容	186
システム診断の起動と終了	186
障害時の対処	188
障害箇所の切り分け	188
エラーメッセージ	189
POST中のエラーメッセージ	189
Windows 2000/Windows NT 4.0のエラーメッセージ	193
管理アプリケーションからのエラーメッセージ	193
トラブルシューティング	194
購入後、初めて電源をONにしたときについて	194
Expressワークステーションについて	194
EXPRESSBUILDERについて	201
シームレスセットアップについて	202
マスターコントロールメニューについて	206
ExpressPicnicについて	207
ESMPROについて	207
障害情報の採取	208
イベントログの採取	208
構成情報の採取	210
ワトソン博士の診断情報の採取	211
メモリダンプの採取	211
NVRAMの情報の採取	212
システムの修復	213
修復手順 ～Windows 2000～	213
修復手順 ～Windows NT 4.0～	215
オフライン保守ユーティリティ	218
オフライン保守ユーティリティの起動方法	218
オフライン保守ユーティリティの機能	219
移動と保管	221
ユーザーサポート	222
保証について	222
修理に出される前に	222
修理に出される時は	223
補修用部品について	223
保守サービスについて	224
ハードウェアメンテナンスサービス	224
ソフトウェア保守サービス	225
オプションサービス	225
情報サービスについて	227
付録 保守サービス会社網一覧	229
索引	233

—— オンラインドキュメントについて ——

添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ESMPRO/ServerAgent (Windows 2000/Windows NT版) インストールガイド
- ESMPRO/ServerManager インストールガイド
- テープ監視ツールセットアップガイド*
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- RAID EzAssistオペレーションガイド
- Mylex DACコンフィグレーションユーティリティオペレーションガイド
- Global Array Manager Server (Windows 2000/Windows NT版) インストールガイド
- Global Array Manager Clientインストールガイド
- Global Array Managerオペレーションガイド
- 自動クリーンアップツールインストールガイド
- Array Recovery Toolインストールガイド

* ドキュメントファイルの格納場所(ディレクトリ)については「ソフトウェア編」を参照してください。その他のファイルはEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー(145ページ)から開くことができます。